

法学研究科 博士前期課程

■一般入試

「学力検査等の内容」

筆記試験（専攻／選択科目試験※1（100 分）・語学試験※2（100 分））、面接

※1 出願時に、憲法、国際法、行政法、民法、商法、刑法、刑事訴訟法、民事訴訟法、租税法、労働法、知的財産法、経済法、国際私法、法哲学、英米法、ドイツ法、フランス法のうちから、本研究科において専攻を志望する科目（専攻科目）と、その他に1科目、計2科目を選択。（ドイツ法、フランス法は専攻科目としては選択できません）。

※2 出願時に、英語、ドイツ語、フランス語のいずれかを選択

注） 外国人受験者の学力試験については、別に定める内規によります。

「合否判定の方法及び基準」

筆記試験及び面接により総合的に合否判定を行います。

■学内推薦

「学力検査等の内容」

面接※1

※1 本学法学部の3年次（3年次卒業の場合2年次）までの学業成績が、法学科及び政治学科のそれぞれ30位以内の者のみ受験可。

「合否判定の方法及び基準」

学業成績及び面接により合否判定を行います。